

## 【産業技術学部 教養教育系科目】

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教養教育系科目の教育においては、学生の多様な知識とものの見方・考え方の涵養と健康づくりを支援するとともに、「生きる力・考える力」の育成をテーマとして、学生が自身の障害と向き合うに必要な広い視野と教養を身に付けさせる教育課程を編成します。

#### ① 幅広い人間性や社会性を身につけるための教育編成

一般教育では、専門教育を受けるための基礎を身につける他、外部講師の担当科目でも情報保障が十分になされる環境で多様な教養科目を履修することができます。語学教育では、日本語表現技術と英語を学ぶ他、第二外国語として仏語、独語、アメリカ手話も学ぶことができます。保健体育教育では、心身の健全な発達を促すために実技と座学を取り入れた授業を行います。

#### ② 全国唯一の視覚・聴覚障害者のための大学として、自身の障害に対する理解を深め、幅広いコミュニケーション能力や問題解決能力を身につけるための教育編成

初年度は、さまざまな情報保障手段を駆使した授業や集団活動、言語活動を通して、障害と関連する諸知識やコミュニケーション、障害補償に関する理解を深め、自己肯定感や柔軟な問題解決能力を培い、コミュニケーションの幅を広げる科目を履修します。2年次以降は、自らの障害と向き合い、卒業後に職場などで自己実現を果たすための基礎を身に付けるために、聴覚障害者の心理、聴覚障害教育、聴覚活用、手話言語と文化、キャリアに関して考察を深める科目を履修することができます。